

## 1 大会日程

7:30	開場	
8:00	公式練習①	板倉 BC (12人)、板倉中学校 (9人)
8:10	公式練習②	エール JBC (7人)、つばさ JBC (3人)、直江津 JBC (7人) ラブオール ITOIGAWA (7人)
8:20	代表者会議	(ステージにて)
8:20	公式練習③	柏崎ジュニア (20人)、刈羽中学校 (1人)、刈羽 JBC (3人) 鏡が沖中学校 (1人)
8:30	開始式準備	(フロアに整列)
8:35	開始式	
8:50	競技開始	
14:30	表彰式 (競技が終了次第行う)	
15:00	終了 (予定)	

### 《開始式》

- 1 競技上の注意
- 2 諸連絡

### 《表彰式》

- 1 成績発表・表彰
- 2 講評
- 3 諸連絡

## 2 競技方法及び大会運営上の申し合わせ事項

### (1) 競技規則及び注意事項

- ・ 令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則による。
- ・ 試合は全て3ゲームマッチ、得点は21点とする。20オールになった場合には、2点リードするか、30点を先に獲得した方の勝ちとする。
- ・ 試合はタイムテーブルを基本に流し込みで進める。コールをよく聞き、コール後は直ちにコートに入り試合を行うこと。
- ・ 女子団体戦と個人戦 (男女単複とも) については3位決定戦を行わない。
- ・ 団体戦は複2・単1とし、すべての試合3コートを使用して同時に開始する。2マッチ取ったチームが勝ちとする。
- ・ 団体戦・個人戦それぞれで、同一選手が単複を兼ねて出場することはできない。
- ・ 生徒が審判を行う。主審1名、線審2名 (1名は得点表示兼務) 体制とする。初戦については、指定の選手が行う。その後は前試合の勝者は線審、敗者は主審を行いその次の試合は線審を行う。不足は補助役員が補う。または、各校の監督・コーチで審判可能な方に協力をお願いする。
- ・ シャトルはヨネックス エアロセンサー700(4号) とする。
- ・ 競技時の服装は上・下(アンダーウェア含)とも令和7年度(公財)日本バドミントン協会検定合格品とする。
- ・ シャツは試合開始の挨拶時は短パン等の内側にきちんと入れること。
- ・ 上着の背面中央部には、縦20cm、横30cm (の範囲内) に校名 (〇〇中) または (〇〇中等) と姓を表示する。なお、同姓の場合は名前の一部を入れること。(シール等で名前の一部を入れるのでよい、県大会では厳しく確認する)
- ・ ゼッケンを付ける場合は黒か濃紺の日本文字 (楷書) で明記し、4角を留め、めくれないようにする。
- ・ 試合中の水分補給は、スクイズボトルやストローなどのついた吸い口にふたのできる容器で給水する。また、床が水滴で濡れないようにタオル等で包んでコートサイドの自分で用意したカバン等に入れる。予備のラケット、タ

オルも同様とする。小型のクーラーボックスはベンチ（コーチ席）の持ち込みは可とする。パウチ飲料は不可とする。

- ・選手や監督・指導者変更のある場合は代表者会議で地区部長に申請を行うこととする。ただし、各学校の指導者については外部指導者承認書を添付すること。
- ・ベンチには登録した監督・コーチ・選手以外が入ることは認めない。ただし、団体戦のコーチ登録者は、個人戦に複数選手が同時に出場する場合、個人戦のコーチに別の人物が登録してあっても、個人戦のベンチに入ることができる。
- ・主審が認めた以外、タイムは一切認めない。ゲーム中に一方のサイドが11点になったとき、選手から申請があれば、60秒を超えないインターバルを認める。また、ゲーム間では120秒を超えないインターバルを取る。いずれの場合もコートサイドに入れる者は選手を除いて2名を上限とする。いずれのインターバルにおいても終了の20秒前にはコートに入ること。
- ・インプレー中の応援、アドバイスは一切禁止とする。（インターバル中のみ監督やコーチのアドバイスは可。インターバル中の応援は可能であるが、節度のある態度、言動で行うこと。）
- ・ベンチでは携帯電話やモバイル機器の使用は不可とする。
- ・本人の不注意による試合中のケガ等で、試合を中断する場合は、審判長の判断で棄権とみなす。但し、5分間で再開可能な場合はその限りではない。回数が多い場合は警告し、審判長の判断で棄権とすることもできる。
- ・選手は見苦しい服装でプレーをしないこと。また、ベンチに入る監督・指導者の服装は上衣は襟のついたシャツ（ポロシャツや審査合格のユニフォームなど）、下衣はスラックス（体操着可）またはスカートを着用し運動靴を履くこと。サンダル・スリッパでの入場は不可とする。

## （２）会場使用上のルール・マナー 他

- ・会場では中学生に相応しい服装、あいさつ、態度で試合に臨むこと。
- ・靴は、競技用（フロアー）と屋外用とははっきり区別する。屋外用の靴は、各自が靴袋等に入れ管理する。
- ・試合中においては、選手へのギャラリーからのアドバイスともとれるような応援、声がけを禁ずる。
- ・体育館外へは許可なく一切出てはならない。
- ・荷物や貴重品は、各学校で責任をもって管理すること。
- ・ビン、缶類の飲料および菓子類、大会に不必要と思われるものは一切会場に持ち込まない。
- ・ゴミの処理は各学校で責任をもち、持ち帰ることとする。
- ・その他、当日指示される会場の使用上の注意事項を守ること。

## （３）その他

- ・監督・コーチがフロアに入る際は「ＩＤカード」を必ず携帯すること。ホルダーは各自で準備すること。
- ・選手控え所は体育館ギャラリーとする。ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ・選手用の荷物を入れるカゴは用意しない。試合時は各自が準備したカバンや袋に入れる。
- ・選手は全員、主審用のバインダーと筆記用具を持参すること。本部からの貸し出しは行わない。
- ・駐車場案内を後日、各団体代表者に送付します。案内に従って近隣の迷惑とならないよう、駐車してください。
- ・各団体に送付したタイムテーブルはあくまでも予定です。終了時刻は流動的となりますので、ご注意ください。
- ・地区大会終了後と同時に県大会申込を行います。下記必要事項を各チームでご用意ください。
  - ア 県大会参加申込書（校長職印・代表者印）
  - イ 参加料（１人1,000円）、納付書
  - ウ その他 必要書類 宿泊申込等
- ・選手のなかで他競技と合わせて参加している選手は、両競技で県大会進出を決めた場合は日程が重なっているため、どちらか一方の競技のみ県大会参加可能となります。申込を重複しないようご注意ください。

## （４）県大会出場枠

- ・団体 男子1チーム・女子1チーム
- ・ダブルス 男女各4組
- ・シングルス 男女各4名